

# 地域再生とまちづくり

各都市が目指すものは

<第22回>

## 閉店や空き店舗増加

守山市は滋賀県南部に位置し、草津市、栗東市、野洲市に接する人口8万4277人、2万9220世帯という規模の都市で、初夏にはゲンジボタルが見られる自然豊かな都市である。現在JR守山駅を中心に開発や活性化計画が進められている。

また、まちづくり会社などの積極的な関わりにより、空きスペースだった「セルバ守山」の地下に市民交流と食と文化をテーマにした複合施設「チカ守山」が14年2月に開業したほか、商店街でも積極的にイベントを開き、施設の知名度向上も図ってきた。

中心市街地の魅力向上に伴い、民間開発も活発になっていく。現在、推進中または検討中のプロジェクトの主要なものは次の通り。①守山駅前

守山駅から徒歩圏の商業地は商店街とスーパードッグで構成されるが、86年に市街地再開発事業で整備された「セルバ守山」に出店した「セルバ平和堂」が98年12月に閉鎖。その後、05年7月に開業した「スーパ

の近江鉄道ビル建て替え事業2棟のマンションが竣工。また、戸建て用地の分譲も活発

で、市全体の人口も増加傾向にある。

## 滋賀県守山市・着々と進む中心市街地活性化事業

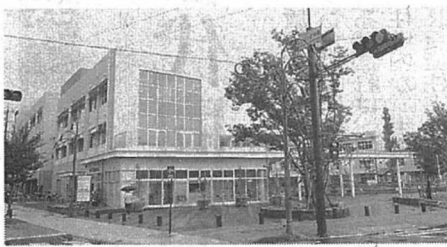
守山駅前「うの家(け)」が、86年に市街地再開発事業で整備された「セルバ守山」に出店した「セルバ平和堂」が98年12月に閉鎖。その後、05年7月に開業した「スーパ

の近江鉄道ビル建て替え事業2棟のマンションが竣工。また、戸建て用地の分譲も活発

で、市全体の人口も増加傾向にある。

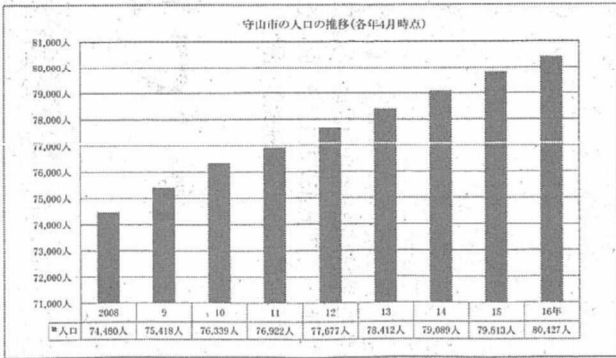


守山宿・町家「うの家(け)」



交流施設・あまが池プラザ

## 町家、交流施設を整備 魅力向上で民間開発も



守山市中心市街地活性化では、基本理念として「住み続けたいくなる、絆と活力ある共生都市」の創造」を掲げ、「新たなサービスにより、にぎわいが感じられるまち」「子どもから高齢者まで幅広い世代が誇りと愛着を持ち共生できるまち」「地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しく回遊できるまち」の3つを目標とした。

商業面以外でも来るべき高齢化社会への対応として、バリアフリー化事業や医療・福祉事業の強化、図書館など公共施設の整備、生活環境の充実にも力を入れ、今後の更なる発展が期待される。

(日本不動産研究所大津支所、不動産鑑定士・芦川直樹)



守山駅前の近江鉄道ビルの建て替え事業

## 「共生都市」を理念に